

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【公表番号】特表2011-502521(P2011-502521A)

【公表日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533337(P2010-533337)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/10

A 6 1 K 39/21

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月28日 (2011.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のポリペプチドと第 2 のポリペプチドとを含む HIV - 1 の多数の株に対する交差反応性の中和抗血清の生産を誘導することが可能な融合ポリペプチドであって、第 1 のポリペプチドが、配列番号 2 と少なくとも 92 % の配列同一性を有するアミノ酸配列を含み、第 2 のポリペプチドが三量体ドメインを含む、融合ポリペプチド。

【請求項 2】

第 1 のポリペプチドが、配列番号 2 を含む、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 3】

第 1 のポリペプチドが、配列番号 2 を含み、第 2 のポリペプチドが配列番号 6 を含む、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 4】

融合ポリペプチドが三量体を形成することが可能である、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 5】

三量体ドメインが配列番号 6 を含む、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 6】

請求項 1 記載の融合ポリペプチドを含む、オリゴマーポリペプチド。

【請求項 7】

オリゴマーが三量体である、請求項 6 記載のオリゴマーポリペプチド。

【請求項 8】

オリゴマーポリペプチドが相同ポリペプチドを含む、請求項 6 記載のオリゴマーポリペプチド。

【請求項 9】

融合ポリペプチドがさらに第 3 のポリペプチドを含む、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 10】

第 3 のポリペプチドがポリペプチド切断部位を含む、請求項 9 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 11】

融合ポリペプチドが少なくとも 1 つのリンカー配列を含む、請求項 1 記載の融合ポリペプチド。

【請求項 12】

請求項 1 記載の融合ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む、核酸分子。

【請求項 13】

ヌクレオチド配列が配列番号 3 を含む、請求項 12 記載の核酸分子。

【請求項 14】

請求項 1 記載の融合ポリペプチドと薬剤として受容可能な担体とを含む、免疫原性の組成物。

【請求項 15】

さらにアジュバントを含む、請求項 14 記載の免疫原性の組成物。

【請求項 16】

請求項 1 記載の融合ポリペプチドに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片。